

政策 目標	重点 課題	頁	主 要 事 業	所 管 部
<b>3. 活力みなぎる元気な街</b>				
札幌の経済を支える企業・人の支援				
	P20		道内地域活性化連携	政策企画部
	P21		中小企業金融対策資金貸付	産業振興部
	P22		フード特区関連	産業振興部
札幌の強みを活かした産業の育成と企業の誘致				
	P23		札幌コンテンツ特区関連	産業振興部
	P24		企業立地促進	産業振興部
文化芸術や地域ブランドを活かした観光・MICEの推進				
	P25		文化財保全活用	文化部
将来を見据えた魅力ある都市の整備				
	P26		苗穂駅周辺地区まちづくり関連	都市計画部 土木部 市街地整備部
	P27		仮称)市民交流複合施設整備事業関連	文化部 市街地整備部 中央図書館
	P28		路面電車延伸推進	総合交通計画部 市街地整備部
	P29		総合的な駐輪対策の推進	建)総務部 土木部
	P30		篠路駅周辺地区のまちづくり	土木部 市街地整備部

(単位：千円)

## 目的

札幌の持つ都市機能を最大限に生かし、北海道が持つ豊かな資源との連携や道内の経済循環を促進するほか、北海道全体の魅力を発信することで、北海道と共に札幌が発展

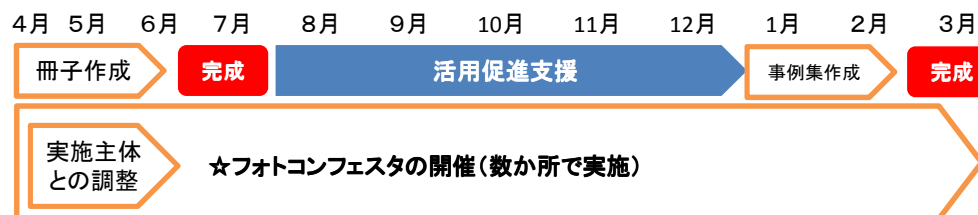
## 事業内容

[事業費：9,444千円]

札幌の持つ都市機能を道内市町村に幅広く紹介し、都市機能の活用を通じた北海道の資源との連携や道内の経済循環の促進を図るとともに、地域の魅力を札幌市民に発信し、道内連携の機運を醸成

- ・ 札幌の都市機能の活用促進 3,699千円
- ・ 市民への道内魅力発信 3,912千円
- ・ 事務費等 1,833千円

## スケジュール



	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	2,000	9,444	<b>9,444</b>	-
(うち一般財源)	(2,000)	(9,444)	<b>(9,444)</b>	-
査定の考え方	【財政局査定】 要求のとおり			

**札幌の都市機能の活用促進 3,699千円**

- 札幌☆取扱説明書の作成 2,360千円  
地域PR等が可能な施設や広報媒体などを紹介する冊子の作成及び札幌活用事例集の作成
- さっぽろ活用促進ゼミの開催 1,339千円  
道内市町村等を対象に市内施設等の効果的な活用に向けたゼミを開催

**市民への道内魅力発信 3,912千円**

- フォトコンフェスタin札幌の開催 3,912千円  
道内各地域で開催されているフォトコンテストを一堂に集めた市内での写真展を開催

# 中小企業金融対策資金貸付

経) 産業振興部

(単位：千円)

## 目的

中小企業者の経営基盤の強化及び健全な発展と振興を図るため、事業活動に必要な資金を供給

## 事業内容

[事業費：80,734,000千円]

中小企業者に対する運転資金、設備資金等の貸付に必要な金額の一部を金融機関に預入れ

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	82,642,000	80,734,000	<b>80,734,000</b>	-
(うち一般財源)	(▲13,972)	(▲13,083)	<b>(▲13,083)</b>	-
査定の考え方	【財政局査定】 要求のとおり			特定財源 諸収入 80,747,083

## H26改正点

経営改善を強力にサポートするため「経営力強化支援資金」の融資条件を拡充

- ① 限度額  
5,000万円⇒**1億円**
- ② 利率  
1.5%⇒**1.3%**
- ③ 信用保証料  
1/4⇒**市が全額補給**

## ●平成26年度一般中小企業振興資金貸付金・特別資金貸付金 予算 (単位：百万円、%)

資金名	平成26年度要求		平成25年度		前年度対比			
	予算額	融資枠	予算額	融資枠	予算額		融資枠	
					金額	伸率	金額	伸率
一般中小企業振興資金	68,144	187,561	70,785	201,271	▲ 2,641	▲ 3.7%	▲ 13,710	▲ 6.8%
小規模事業資金	16,588	27,535	14,675	24,359	1,913	13.0%	3,176	13.0%
札幌みらい資金	10,227	25,156	7,713	19,049	2,514	32.6%	6,107	32.1%
景気対策支援資金	10,128	20,356	14,758	29,811	▲ 4,630	▲ 31.4%	▲ 9,455	▲ 31.7%
経営力強化支援資金	617	1,239	446	1,100	171	38.3%	139	12.6%
その他(産業振興資金等)	30,584	113,275	33,193	126,952	▲ 2,609	▲ 7.9%	▲ 13,677	▲ 10.8%
特別資金	12,590	18,231	11,857	17,202	733	6.2%	1,029	6.0%
合計	80,734	205,792	82,642	218,473	▲ 1,908	▲ 2.3%	▲ 12,681	▲ 5.8%

(単位：千円)

### 目的

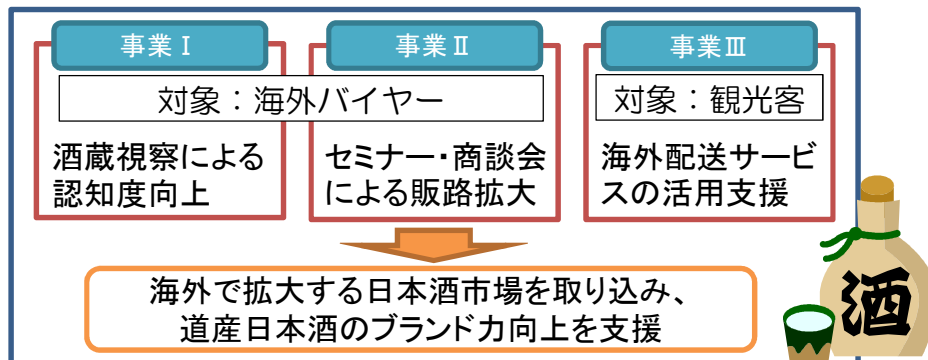
北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区の取組を強化するとともに、今後、人口減少等に伴い国内市場の縮小が予想される食産業について、「地方発海外」の展開に新たな活路を見出すことで、収益基盤強化、市内雇用維持・拡大、ブランド力向上等を促進

#### ①道産有望食品ブランド化事業【新規】

[事業費：9,240千円]

○食品の輸出を一層促進するため、輸出有望な道産食品の海外バイヤー等への重点的な販売促進などにより、ブランド力の向上を支援  
来年度は日本酒を対象に事業実施

- ・事業運営等 8,840千円
- ・事務費等 400千円

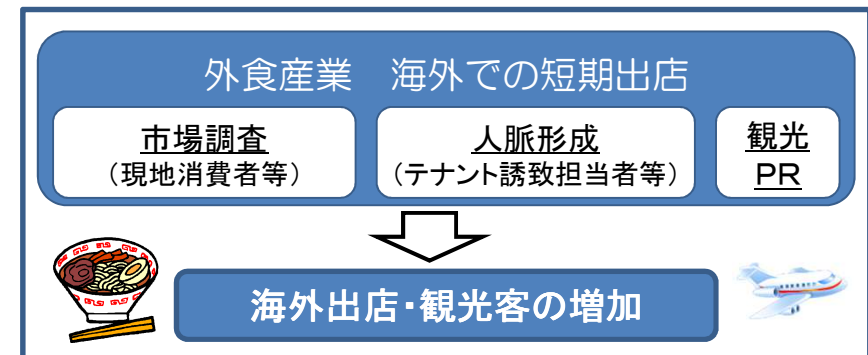


#### ②外食産業海外展開支援事業【新規】

[事業費：13,650千円]

○外食産業の海外展開を促進するため、飲食店の海外短期出店等により、海外での市場ニーズや人的ネットワークの構築を支援

- ・事業運営等 12,300千円
- ・事務費等 1,350千円



	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
① 事業費	0	9,240	6,800	-
	(うち一般財源)	(0)	(9,240)	(6,800)
② 事業費	0	13,650	12,000	-
	(うち一般財源)	(0)	(13,650)	(12,000)
査定の考え方		【財政局査定】 ①商談会等の経費の精査等(▲2,440) ②事務費等について過去の類似事例に基づき精査(▲1,650)		

# 札幌コンテンツ特区関連

経)産業振興部

## 目的

アジアにおけるコンテンツ産業拠点都市の創造を目指し、札幌市の映像産業及び映像を通じた札幌市産業の発展に向けた取組を推進し、札幌市のブランド化を促進

(単位：千円)

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
① 事業費	110,700	68,108	49,400	-
(うち一般財源)	(59,531)	(64,138)	(49,400)	-
② 事業費	0	31,762	30,000	-
(うち一般財源)	(0)	(31,762)	(30,000)	-
査定の考え方	【財政局査定】 ①過去実績及び事業手法見直しによる精査(▲18,708) ②セミナー、事務費の精査(▲1,762)			

## ①札幌コンテンツ特区推進事業

[事業費：68,108千円]

(財) さっぽろ産業振興財団内に設置した札幌映像機構を中心として、撮影環境の整備や人材ネットワークの構築、映像のプロモーション効果を活かした成功事例の創出等を通じて、映像産業のみならず観光産業等の振興を促進

- ・ 特区推進組織の運営 41,478千円
- ・ 海外ネットワーク構築促進 11,000千円
- ・ 撮影環境の整備 7,000千円
- ・ 外国人観光客の受入環境整備 3,970千円
- ・ 事務費等 4,660千円

## ②プロダクトプレイスメント映像制作促進助成金事業【新規】

[事業費：31,762千円]

アジア等海外に向け、札幌・北海道のブランドを活用したプロモーションやマーケティングを実践するための映像制作を行い、海外へその映像を発信し、自社の製品化や販路拡大などを実践する市内企業のプロジェクトに対して助成を行う。また、プロダクトプレイスメントの意識助成を行うため、市内企業等向けにセミナーを開催

- ・ 助成金（1件当たり 上限10,000千円） 10,000千円×3件=30,000千円
- ・ セミナー開催委託料 1,658千円
- ・ 審査委員会委員謝金 104千円

**【特区の目標】**

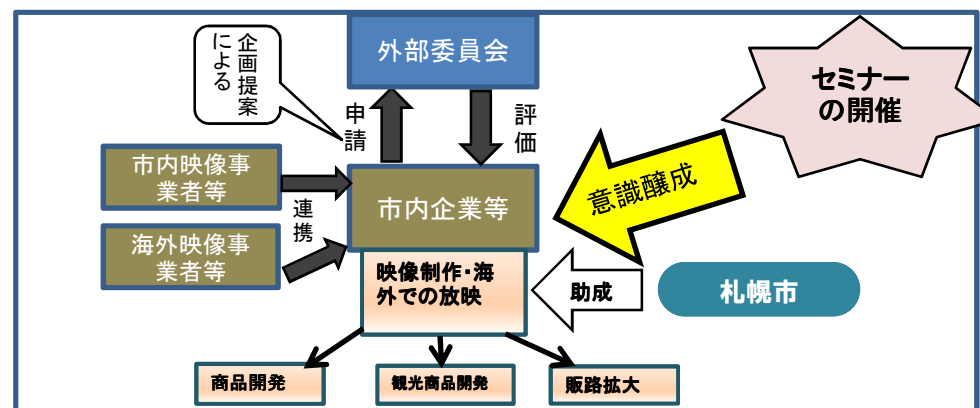
- ①市内映像制作の経済効果 18.87億円（26年度）
- ②映像の海外輸出額 1.7億円（26年度）
- ③市内外国人宿泊者数 100万人（26年度）

アジア諸国等と海外映像関係者等との強力なネットワークを構築

札幌コンテンツ特区がHUBとなり、国内地域コンテンツの国際共同映像制作等を推進

道内他産業の巻き込みを図り、映像から多様な産業に波及する循環を創出

国内地域産業全体の国際化と活性化を目指す



(単位：千円)

## 目的

雇用創出や産業振興・経済活性化のため、札幌市をはじめとした札幌圏における企業立地を促進

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	421,500	566,799	<b>536,814</b>	-
(うち一般財源)	(421,500)	(566,799)	<b>(536,814)</b>	-
査定の考え方	【財政局査定】 過去実績に基づき精査(▲29,985)			

## 事業内容

[事業費：566,799千円]

先端技術や食関連産業、IT・コンテンツ、コールセンター・バックオフィス、本社機能等の立地促進に向け誘致活動等を実施し、立地企業に補助金を交付

- ・ 誘致PR等 9,980千円
- ・ 立地企業フォローアップ 2,800千円
- ・ 立地企業への補助金交付 554,019千円

### 【総事業費】

企業立地促進

25年度：421,500千円 → 26年度576,485千円

## 立地補助件数

- ・ 先端技術分野（みらいづくり） 2件
- ・ コールセンター・バックオフィス等 26件
- ・ IT・コンテンツ・バイオ 14件
- ・ 製造業等（ものづくり） 15件

	新設(件)		増設(件)		補助額(千円)	
	新規	継続	新規	継続	H26要求額	H25予算額
先端技術分野(みらいづくり)	0	0	2	0	42,562	5,090
コールセンター・バックオフィス等	6	17	3	23	270,000	280,000
IT・コンテンツ・バイオ	6	8	4	4	130,000	62,400
製造業等(ものづくり)	3	5	4	3	111,457	52,510
					554,019	400,000

広報活動  
情報収集  
調査研究

企業訪問  
視察受入

立地  
決定

補助金交付  
人材確保・  
育成支援

## 目的

市有文化財施設を良好な状態で保存・活用して後世に継承していくための、計画的・継続的な補修及び整備

## 事業内容

[事業費: 385,844千円]

- 1 豊平館保存活用工事等  
保存修理工事・附属棟等公開活用整備工事・  
検討委員会運営等：377,678千円
- 2 旧三菱鉱業寮保存活用工事基本実施設計の実施・  
検討委員会運営等：8,166千円

## スケジュール

- 1 豊平館保存活用工事等 (H26～H27)
- 2 旧三菱鉱業寮保存活用工事基本実施設計等
  - ・耐震設計含保存活用工事基本実施設計 (H26～H27)
  - ・検討委員会運営等 (H26)
  - ・耐震工事含保存活用工事 (H27～H28)

(単位: 千円)

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	134,400	385,844	<b>382,500</b>	-
(うち一般財源)	(39,713)	(70,844)	<b>(70,500)</b>	-
査定の考え方	【財政局査定】 新規整備する附属棟の規模の縮小(▲3,344)			特定財源 国庫支出金 100,000 道支出金 50,000 市債 162,000



国指定重要文化財豊平館

～活力みなぎる元気な街～

# 苗穂駅周辺地区まちづくり関連

市)都市計画部、(建)土木部  
都)市街地整備部

## 目的

苗穂駅周辺地区における南北分断等の地域課題を解消し、「都心居住の推進」や「回遊性を向上させる東側の拠点形成」を図るため、苗穂駅の移転橋上化の整備や実施交通結節機能の向上、再開発事業を推進

### ① 苗穂駅周辺地区まちづくり事業

[事業費：412,302千円]

- 駅移転橋上化に関する基本設計・工事等や、まちづくりを推進するためのワークショップを実施
- ・ 駅移転橋上化に関する基本設計・工事 409,000千円
  - ・ まちづくり推進業務 3,000千円
  - ・ 事務費等 302千円

### ② 苗穂駅周辺地区整備事業

[事業費：1,951,000千円]

- 事業区域の用地補償、確定測量及び実施設計を実施
- ・ 用地補償（ネットワーク道路（北4東6地区）、北口アクセス道路 南口駅前広場、北口駅前広場） 1,913,000千円
  - ・ 確定測量および実施設計 38,000千円

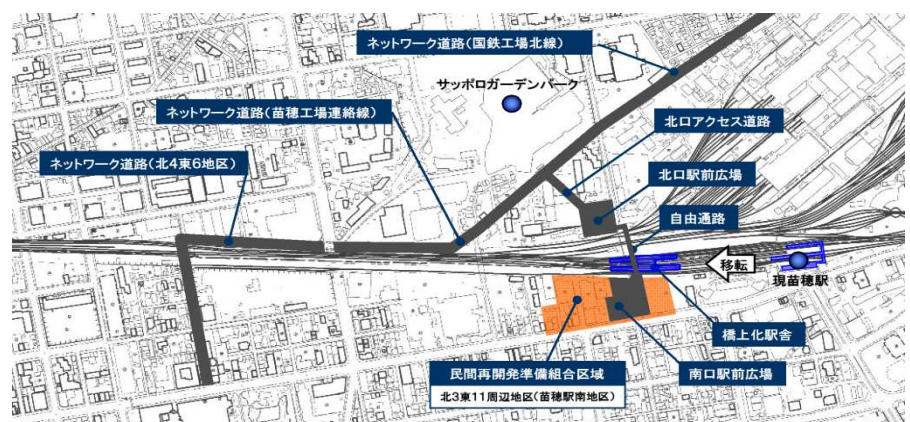
### ③ 北3東11周辺地区再開発事業

[事業費：54,000千円]

- 民間再開発事業の施行者に調査・設計計画費の一部を補助
- ・ 事業計画作成に対する補助 54,000千円

(単位：千円)

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
①	事業費 317,400 (うち一般財源 (159,820))	412,302 (207,802)	411,300 (206,800)	-
②	事業費 45,000 (うち一般財源 (2,000))	1,951,000 (100,700)	1,951,000 (100,700)	-
③	事業費 54,000 (うち一般財源 (27,000))	54,000 (27,000)	54,000 (27,000)	-
査定の考え方	【財政局査定】 ①委託料を過去実績に基づき精査(▲1,002) ②③要求のとおり		【特定財源】 ①国庫支出金 204,500 ②国庫支出金 976,300 市債 874,000 ③国庫支出金 27,000	





(単位:千円)

## 目 的

創世交流拠点のまちづくりを先導するため北1西1地区市街地再開発事業を推進するとともに、今後の札幌の文化芸術・創造的な市民活動の拠点となる仮称)市民交流複合施設を整備

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
① 事業費	10,600	14,530,000	<b>14,530,000</b>	—
(うち一般財源)	(10,600)	(8,793,000)	<b>(8,793,000)</b>	—
② 事業費	—	455,000	<b>455,000</b>	—
(うち一般財源)	—	(24,000)	<b>(24,000)</b>	—
③ 事業費	—	1,018,000	<b>1,018,000</b>	—
(うち一般財源)	—	(69,000)	<b>(69,000)</b>	—
査定の考え方		【財政局査定】 ①要求のとおり ②要求のとおり ③要求のとおり	【特定財源】 ①国庫支出金 885,000 市債 4,852,000 ②国庫支出金 227,000 市債 204,000 ③国庫支出金 509,000 市債 440,000	

## 仮称)市民交流複合施設の整備

[事業費：14,985,000千円]

仮称)市民交流複合施設の整備に必要な用地取得費及び調査・検討費用等

- ①高機能ホール、アートセンター 14,530,000千円
- ②都心にふさわしい図書館 455,000千円

## 北1西1地区再開発事業

[事業費：1,018,000千円]

③再開発事業の施行者に、実施設計及び既存建築物解体等の費用の一部を補助

- ・実施設計及び既存建築物解体等 1,018,000千円



【整備イメージ】

### <計画概要>

- ・地区面積：約2.0ha
- ・延床面積：約127,900㎡
- ・階数：地上28階 地下5階
- ・用途：業務、公共公益施設等
- ・スケジュール：H26年度着工、H29年度竣工予定

# 路面電車延伸推進

## 目的

路面電車の延伸により、札幌のまちの賑わいや魅力的な空間を創出。路面電車の利便性を向上し、交流空間を創出するため、西15丁目停留場に近接する施設に路面電車の待合機能をもった屋内広場を整備

### ①路面電車延伸推進

[事業費：2,315,450千円]

#### 路面電車延伸に係る工事や各種検討等

- ・ 延伸検討調査等 12,000千円
- ・ 協議会・市民への情報提供等 52,800千円
- ・ ループ化関連工事等 2,173,000千円
- ・ 官民連携による沿線の魅力アップ 54,000千円
- ・ 事務費等 23,650千円

### ②南1西14地区優良建築物等整備事業

[事業費：120,000千円]

南1西14地区における優良建築物等整備事業に共同施設整備費の一部を補助

- ・ 共同施設整備費に対する補助 120,000千円

#### 【事業概要】

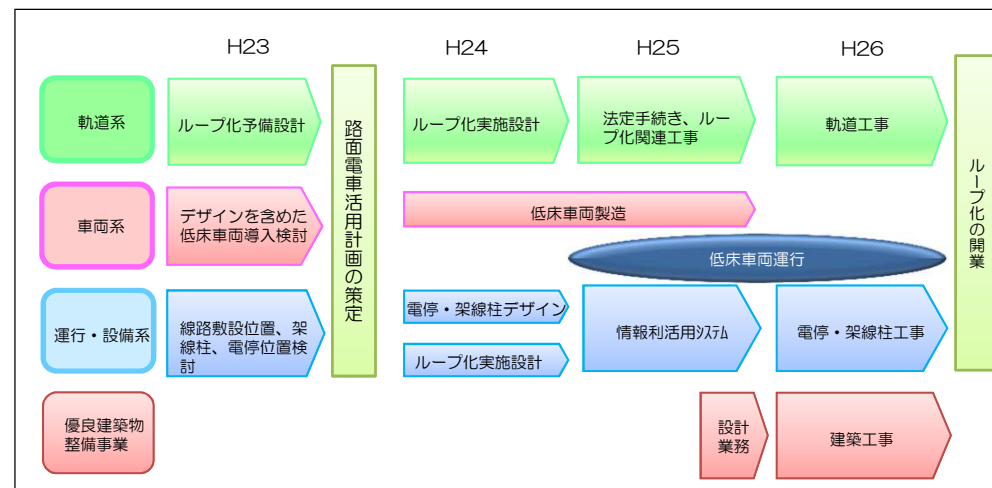
用途：医療、サービス付き高齢者向け住宅等

規模：地上11階、地下1階

構造：鉄筋コンクリート造

(単位：千円)

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
①	事業費 189,000	2,315,450	2,021,000	—
	(うち一般財源) (185,000)	(461,200)	(352,000)	—
②	事業費 0	120,000	63,000	—
	(うち一般財源) (0)	(60,000)	(31,500)	—
査定の考え方		【財政局査定】 ①補償費等の精査(▲294,450) ②補助対象経費を精査(▲57,000)		①特定財源 国庫支出金 402,000 市債 1,267,000 ②特定財源 国庫支出金 31,500



<整備イメージ>  
(オープンパブリックスペース)

## 目的

迷惑駐輪による歩行環境や景観の悪化の改善

## 事業内容

[事業費：416,040千円]

(単位:千円)

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	72,441	416,040	<b>556,075</b>	-
(うち一般財源)	(35,161)	(232,840)	<b>(410,475)</b>	-
査定の考え方	【財政局査定】 過去実績に基づき精査(▲59,965) 長期的費用の低減に向けて、整備手法・事業費を精査(+200,000)			特定財源 国庫支出金 89,600 市債 56,000

都心部や駅周辺の公共駐輪場の整備及び放置禁止区域の指定による良好な歩行環境と景観の確保

- ・ 駐輪場整備 (栄町駅交通広場) 98,040千円
- ・ 駐輪場整備 (都心部) 288,000千円  
: 官民協働、北1西1再開発、西2丁目線
- ・ 放置禁止区域対策業務 30,000千円

平成26年度放置禁止区域拡大

- ・ 新規に1か所を指定予定



官民協働による駐輪場整備のイメージ  
(※写真はさいたま市民間駐輪場の例)

# 篠路駅周辺地区のまちづくり【新規】

(単位:千円)

## 目的

篠路駅周辺地区の地域課題を解決し、北区北部の地域交流拠点としてふさわしいまちづくりを進めるため、土地区画整理事業や鉄道高架事業に必要な調査・検討を実施

## 事業内容

### ① 土地区画整理事業についての調査・検討

- ・土地区画整理事業調査 [事業費：12,000千円]  
(区画整理設計、現況測量ほか)

### ② 鉄道高架事業についての調査・検討

- ・連続立体交差事業調査 [事業費：60,000千円]  
(鉄道施設基本設計ほか)

## スケジュール(想定)

区分	H26	H27	H28	H29	H30
土地区画整理	区画整理設計・測量	区画整理設計	事業計画策定	都市計画決定及び事業認可の手続き	都市計画決定
鉄道高架	連続立体事業調査	換地設計	関係機関協議・調整		
	鉄道施設基本設計・概略設計				
	交差道路・側道の検討など				

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
①	事業費	0	12,000	9,000
	(うち一般財源)	(0)	(9,000)	(6,000)
②	事業費	0	60,000	60,000
	(うち一般財源)	(0)	(56,000)	(56,000)
査定の考え方				【財政局査定】 ①過去実績等に基づく精査(▲3,000) ②要求のとおり ①特定財源 国庫支出金 3,000 ②特定財源 国庫支出金 4,000

## 位置図

